



(財) 日本消防設備安全センター認定基準に準拠し設計され、耐震性、防水性、施工性に優れています。



●優れた耐震性

設計水平震度**0.288**の耐震設計で、PC鋼より線による縦締めで一体化構造になっているため、地震発生時の衝撃にも安心です。

●優れた防水構造

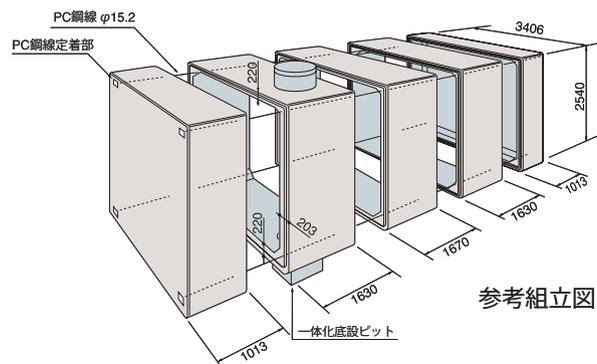
水密性の高いコンクリート部材を使用し、接合面には弾性パッキンとエポキシ系弾性目地を施し、内壁面にはエポキシ系ライニングを塗布し、漏水を防止します。(内面処理はオプションの場合があります)

●工期短縮

部材は全て品質管理の行き届いた工場製品ですので、容易な作業で高い精度が得られ、確実な現場管理と工期短縮が図れます。また、PC鋼より線により縦締めを行いますので、敷地の狭い現場での施工にも対応できます。

●維持費の低減

安定した製品と、優れた防水構造により錆や腐食の心配がなく、設置後の維持費が低減できます。

40m<sup>3</sup>100m<sup>3</sup>

参考組立図

名 称	型 式 記 号	容 量	組立寸法 (mm)	総質量 (t)
NK 防火水槽	40m <sup>3</sup> NK40- I -1.0、NK40- II -08	40m <sup>3</sup>	3000×2100×6550	50.6 (1ピット) 51.5 (2ピット)

名 称	型 式 記 号	容 量	組立寸法 (mm)	総質量 (t)
NK耐震性 貯水槽	※20m <sup>3</sup> NK20- I -1.2、NK20- II -1.0 NK20- III -0.8	20m <sup>3</sup>	3000×2100×3310	30.6(1ピット)
	※30m <sup>3</sup> NK30- I -1.2、NK30- II -1.0 NK30- III -0.8	30m <sup>3</sup>	3000×2100×4920	40.6(1ピット)
	40m <sup>3</sup> NK40- I・II・III NKH40- I・II・III	40m <sup>3</sup>	3000×2100×6550	50.5(1ピット) 51.2(2ピット)
	※50m <sup>3</sup> NK50- I -1.2、NK50- II -1.0 NK50- III -0.8	50m <sup>3</sup>	3000×2100×8180	60.4(1ピット) 61.1(2ピット)
	60m <sup>3</sup> NK60- I -1.2、NK60- II -1.0 NK60- III -0.8、NKH60- I・II・III	60m <sup>3</sup>	3000×2100×9810	70.3(1ピット) 71.0(2ピット)
	70m <sup>3</sup> NK70- I -1.2、NK70- II -1.0 NK70- III -0.8	70m <sup>3</sup>	3000×2100×11440	80.2(1ピット) 80.9(2ピット)
	80m <sup>3</sup> NK80- I -1.2、NK80- II -1.0 NK80- III -0.8、NKH80- I・II・III	80m <sup>3</sup>	3000×2100×13070	90.1(1ピット) 90.8(2ピット)
	90m <sup>3</sup> NK90- I -1.2、NK90- II -1.0 NK90- III -0.8	90m <sup>3</sup>	3000×2100×14700	100.0(1ピット) 100.7(2ピット)
	100m <sup>3</sup> NK100- I -1.2、NK100- II -1.0 NK100- III -0.8、NKH100- I・II・III	100m <sup>3</sup>	3000×2100×16330	109.9(1ピット) 110.6(2ピット)

※は(財)日本消防設備安全センター認定品外の製品です。

40m<sup>3</sup> 防火水槽と 40m<sup>3</sup> 耐震性貯水槽との相違点につきましては次ページをご参照ください。

## 設計条件

項 目	NK 防火水槽		耐震性防火水槽			
	40m <sup>3</sup>		I 型	II 型	III 型	
使用 場 所	空地用	道路用	空地用	道路用		
荷 重	10.0kN/m <sup>2</sup>	T-200	10.0kN/m <sup>2</sup>	T-200	T-250	
土被り (m)	0.0 ~ 1.0	0.2 ~ 0.8	0.0 ~ 1.2 ※1	0.2 ~ 1.0 ※1	0.2 ~ 0.8 ※1	
			0.0 ~ 1.8 ※2	0.0 ~ 1.3 ※2	0.0 ~ 1.2 ※2	
必要地耐力	80.0kN/m <sup>2</sup>		80.0kN/m <sup>2</sup>			
設 計 震 度	水 平	KH=0.288		KH=0.288		
	鉛 直	KV= ± 0.144		KV= ± 0.144		
水平土圧係数	常 時	0.5		0.5		
	地震時	KV= + 0.144	0.744		0.744	
		KV= - 0.144	0.931		0.931	
単位体積重量	土	18.0kN/m <sup>3</sup>		18.0kN/m <sup>3</sup>		
	鉄筋コンクリート	24.5kN/m <sup>3</sup>		24.5kN/m <sup>3</sup>		
コンクリート設計基準強度	35.0N/mm <sup>2</sup>		35.0N/mm <sup>2</sup>			
鉄筋許容引張応力度	120.0N/mm <sup>2</sup>		120.0N/mm <sup>2</sup>			
材 料	軀 体	RC 構造		RC 構造		
	集水ピット	本体ブロックと一体型		本体ブロックと一体型		
	吸管投入孔	二次製品 (ボルトで本体ブロックと連結)		二次製品 (ボルトで本体ブロックと連結)		

適用基準：財団法人 日本消防設備安全センター認定基準

※1 ただし、耐-00040号・耐-96056号・耐-09153号の土被りを示します。

※2 ただし、耐-16003号・耐-16004号・耐-16005号・耐-16006号の土被りを示します。

## 40m<sup>3</sup> 防火水槽と 40m<sup>3</sup> 耐震性貯水槽との相違点

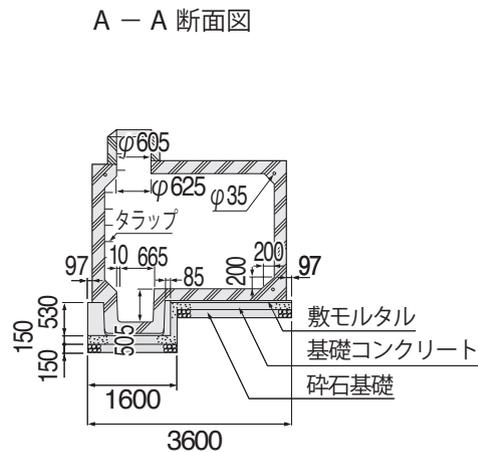
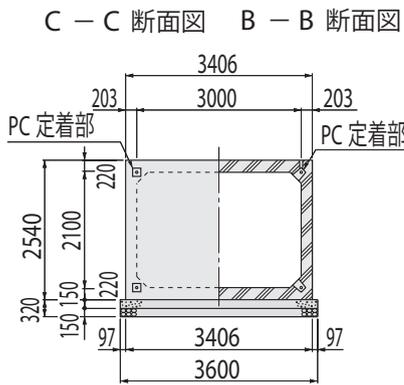
項目	防火水槽		耐震性貯水槽		
型式	1 型	2 型	1 型	2 型	3 型
使用条件	空き地	道路	空き地	道路	道路
荷重	10.0kN/m <sup>2</sup>	T-200	10.0kN/m <sup>2</sup>	T-200	T-250
土被り	0.0~1.0m	0.2~0.8m	0.0~1.2m ※1	0.2~1.0m ※1	0.2~0.8m ※1
			0.0~1.8m ※2	0.0~1.3m ※2	0.0~1.2m ※2
ピット深さ	50cm		50cm 又は 30cm		
緊張力	147kN		174.6kN		
耐震性	どちらも同等の震度で設計された耐震性のある水槽です。				
主な使用用途	過疎地域、準市街地		地震防災対策強化地域		
国の補助	なし		あり		

※1 ただし、耐-00040号・耐-96056号・耐-09153号の土被りを示します。

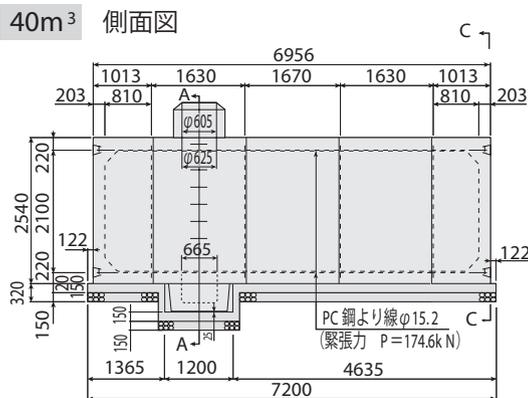
※2 ただし、耐-16003号・耐-16004号・耐-16005号・耐-16006号の土被りを示します。

## NK 耐震性貯水槽 (40,60,70,80,90,100m<sup>3</sup>) 認定品

耐震性貯水槽 標準断面図 ※ピット深さ 50cm (30cmタイプもあります)



### 形状図



財団法人日本消防設備安全センター認定品

認定番号：耐- 00040 号

型式記号：NK40 - I・II・III

認定番号：耐- 16006 号

型式記号：NK40 - I・II・III